

中学校（1年生）
11月
コミュニケーション

お互いの意見やアイデアを率直に伝えられたか。またそれを素直に聞き入れることができたか。お互いの立場を尊重し、お互いに分かろうとしているかを確認する。

活動の実際

＜AHA体験＞ 月と星	
準備物	ロープ(3mm×3m、2人に1本)
活動内容	支援及び留意点
① 2人組になる。 ② Aの人が円の中心に立って、指示を出す。 ③ Bの人は目をつぶって、指示に従う。 ④ Bの人がロープを使って、正確に円を描くことをめざす。	○お互いに意見交換をするよう促す。 ○ロープは柔らかい物を使わないと、図形は変化してしまう。
＜発展＞ ○四角形や五角形、星形など好きな図形を描く。 ○小枝で地面に動物の絵を描く。	
＜ふりかえりの視点＞ ○思い通りの図形が描けた？ ○Aの立場とBの立場との違いは？	
＜比喻（メタファー）＞ ○お互いの立場を体感し、認め合うこと。	

乗ってみよう	
準備物	フラフープ
活動内容	支援及び留意点
①一人にピースずつ配る。 ②まだピースがあれば、さらに1ピースずつ全てのピースを配る。 ③全員でパズルを組み立てる。	○ピースを交換してはいけない。 ○パズルの枠を示すと完成させやすい。
＜発展＞ ○タイムトライアルにする。 ○1ピースだけ抜いておく ○パズル自体を先に自作する。 ○裏に名前や目標を書かせる。	
＜ふりかえりの視点＞ ○自分はどういう参加の仕方だった？ ○日頃、これに似たものがある？	



今の気持ち

準備物	なし	
活 動 内 容	支援及び留意点	
① 2人組になる ② 一人が粘土役、他の一人が芸術家役になる。 ③ 芸術家は、自分の今の気持ちを粘土のポーズで表現する。 ④ 粘土は、芸術家の気持ちを読みとって説明する。 ⑤ 両者の役割を交代する。	○ 芸術家が伝えたいことをはっきりとさせる。 ○ 芸術家の気持ちを粘土が推察し、つきあわせることによって、お互いの感じ方を理解していく過程が重要である。	
<発展> ○ モデルと粘土と芸術家 ○ 「やってみたいこと」「将来の夢」「なりたい職業」など条件を変える。		



魔法のじゅうたん

準備物	シート	
活 動 内 容	支援及び留意点	
① グループに1枚シートを渡す。 ② 1枚のシート（絨毯）に全員が乗る。 ③ 全員が乗ったまま、シートを裏返す。 ④ 一人でもシートから出たらやりなおし。	○ シートは全員が乗れる程度の大きさにする。 ○ シートは表裏がはっきり分かるものがよい。 ○ 無理に引っ張ってシートを破らないように注意する。 ○ ストーリーのおもしろさを生かす。 ○ 人の上に乗ってはいけない。	
<ふりかえりの視点> ○ どんな声が聞こえた？ ○ 気をつけたことは何？		



ふわふわ旅行

準備物	羽毛（風船、ティッシュ等）	
活 動 内 容	支援及び留意点	
① 4人組になる。 ② 手を使わずに、目標まで羽毛を運ぶ。 ③ 途中で落ちたらやり直し。	○ 下から息をふきかけるので、足下が見えない。 ○ 屋外の方が難しい。 ○ ティッシュの大きさ等はグループで決める。	
<発展> ○ 目標を小さいものにする。 ○ 距離を大きくする。 ○ シャボン玉で行う。		